

# 記事の書き方

文 編集部 ほげ

## 1 まずはじめに

### 1.1 デフォルトオプション: pL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を使う

`article_name` は適当な名前として、以下のようなコマンドでブランチを分けましょう。

```
1 git submodule update --init
2 cd ./articles
3 cp -r ./tex_hinagata ./my-article-name
4 cd ./my-article-name
5 autoconf
6 ./configure
```

### 1.2 選択: LuaL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を使う

WORD では新たに LuaL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X が使えるようになりました。使い方は、`./configure`のかわりに `./configure --enable-luatex` としてください。

## 2 記事を書く

記事を書いたら、`make` コマンドでビルドできます。

```
1 git add *
2 make
```

これで `main.pdf` が生成されれば成功です。あとは `main.tex` を編集すれば記事が出来ます。

### 3 Git サーバに push する

記事のキリの良いところで `git push` するといいいのですが、最初の push の時には、origin<sup>\*1</sup> に新しいブランチを登録する必要があります。それは以下のようにしましょう。

```
1 git push origin personal/username/article_name
```

push を成功させた場合には、ビルドの結果が slack<sup>\*2</sup> の #jenkins チャンネルに流れます。slack を見ない場合は、<http://dev.word-ac.net/jenkins/job/LaTeX/> および <http://dev.word-ac.net/gitweb/> を見ると良いでしょう。

### 4 トラブルシューティング

#### 4.1 偶数頁

編集作業をしていると、レイアウトの問題で偶数頁から開始していただくことがあります。その場合の対処法は、TeX の処理系によって以下のように異なります。

##### pLaTeX を使う場合

その場合は、プレアンプルに以下を追加してください。

```
1 \setcounter{page}{2}
```

##### LuaLaTeX を使う場合

`\documentclass` のオプションに `swapheader` をつけることで簡単にできます。

```
1 \documentclass[swapheader]{word-lua}
```

---

\*1 ここでは git サーバである dev.word-ac.net のことです

\*2 <https://word-ac.slack.com>

## 5 鍵の登録

Git サーバに鍵を登録しないと、push できません。もしそれが原因でつまっている場合には、誰か権限を持っていそうな人に頼んで登録してもらいましょう。2016 年 6 月現在では、pi8027, yyu, ioriveur, shrinkbr, osyoyu, chris, nymphium が部員を登録できます。鍵が変わった場合も声をかけましょう。

## 6 他の問題について

問題があれば slack の #latex チャンネルや、編集会議で聞くと良いでしょう。

直接詳しい人に SNS で聞く場合、@\_\_yyu\_<sup>\*3</sup> へ投げると早い。word-lua に関しては@Nymphium<sup>\*4</sup> か@azuma962<sup>\*5</sup> へ。

---

\*3 [https://twitter.com/\\_yyu\\_](https://twitter.com/_yyu_)

\*4 <https://twitter.com/Nymphium>

\*5 <https://twitter.com/azuma962>

# 記事の書き方

文 編集部 ほげ

## 7 使い方

1. `git clone https://github.com/word-overflow/book-first-edition.git`
2. `cd ./book-first-edition`
3. `git submodule update --init`
4. `cd ./articles`
5. `cp -r ./markdown_hinagata ./my-article-name`
6. `cd ./my-article-name`
7. `make`

これで `main.pdf` が生成されれば成功です。あとは `body.md` を編集すれば記事が出来ます。

## 8 word-lua

WORD では新たに LuaLaTeX が使えるようになりました。

### 8.1 「文 編集部」の消し方

LuaLaTeX では「文 編集部」は以下のコマンドでも消すことができます。

```
1 \authormark{}
```

### 8.2 偶数頁

また、偶数頁始まりも `\documentclass` のオプションに `swapheader` をつけていただくことで簡単にできます。

```
1 \documentclass[swapheader]{word-lua}  
2 %.....
```

## 9 質問

@\_yyu\_ へ投げると早い。word-lua に関しては@Nymphium か@azuma962 へ。